

10000人以上の読者を持つ
メルマガ発行者が
必ずやっていること

発行 中村 光る

<http://p-logical.seesaa.net/>

著作権について

【著作権について】

本書は日本国の著作権法で保護されている著作物です。

本書の取り扱いには以下の点にご注意ください。

本書の著作権は、中村 光宏にあります。

上記の者の書面による許可なく、本書の一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、レコーダーなど）により、複製、流用転用および記載、転売（オークション含む）する事を禁じます。

以上に記載した行為により著作権者が不利益を被ったと判断した場合、該当する行為を行った者に対し、著作権法等、関係法規に基づく手続きにより法的手段により損害賠償請求などを行う場合があることを御了承ください。

本書で取り上げられた情報は、作成された時点での著者の見解であります。

中村 光る以外からこのファイルを配布することはありません。

中村 光る以外から入手された場合は、ご一報をお願いします。

【免責事項】

本書の著者は、これまでの経験をもとにノウハウをまとめたものであり、

全ての読者の利益を保証するものではありません。

状況の変化に応じて、著者は、このレポートで表示した見解とは異なる見解を新しい変化に応じての表現を行う権利を有しています。

また、法律、その他の分野に関する専門的なアドバイスを与えかねること、利益や特定の目的に対する適合性を保障しかねること、本書を使用することによって生じた、いかなる結果に対しても責任を負わないことも御了承ください。

はじめまして。中村 光ると申します。この度は無料レポートをダウンロードしていただきありがとうございます。

10000人以上の読者を持つメルマガをかったっぱしから読んで見たところ、とある法則に気づきました。

法則が有ると言うことは、公式化できるということです。公式化というと難しく聞こえるかもしれませんが、要はひな形があってそのひな形に当てはめるだけで誰でも10000人の読者を集められるメルマガを作成することができるということです。

まず一つめの例です

メルマガ読者が満足するメルマガとは？ について

読者が欲しているメルマガとは流し読みでも内容を理解できるメルマガである。

1 . 読者が欲している情報を提供しているか？

1 - 1 . 自分の日記の様になっていないか？自分しか知らない情報は理解し難い。

1 - 2 . 広告・無料レポートのクリックのみに固執していないか？

2 . 内容に一貫性があるか？

2 - 1 . タイトル・説明分とメルマガ内容が一致しているか？予想外の内容で

は理解し難い。

2 - 2 . 自分を覚えてもらう工夫をしてあるか？次に読んでもらう時心の準備ができる。

3 . わかりやすい文章であるか？

3 - 1 . 文章にテーマと結論があるか？これが冒頭に来ていると何を言いたいのか予想して文章が読める。

3 - 2 . 読者がメールで見やすい様工夫しているか？行間を空けるやスクロール無しで見れる等。

これは本論フォーメーションと名付けました。まずテーマ + 結論がありその理由として大項目3つで説明する（3つが最適）。その大項目を中項目2つで説明する（2～3つが最適）。こうして書かれた文章は言いたいことが一目瞭然でわかります。更に人に説明する場合、論理的な構成になっているため、相手がわかりやすいだけでなく自分も説明しやすいという利点があります。

二つめの例です

何のためにメルマガをやっているのか？

現在の私 : 月収 30万のサラリーマン。月の残業が60時間程度。自由な時

間もお金も無し（家のローンが大変）

目指すべき私　：　メルマガアフィリエイトで月収100万。自宅で自由な時間に働く家のローンも終わりボランティアなどに従事。

1か月後の私　：　メルマガ読者　1000人。メルマガ読者1000人達成するためには無料レポートを2件/月発行。メルマガ・ブログを毎日更新

2か月後の私　：　メルマガ読者　3000人。アフィリエイトで　3万/月の収入を上げる。無料レポート、メルマガ等で有料情報商材の情報収集及び購入。情報商材でアフィリエイト。ブログアフィリエイトも実施

3か月後の私 : メルマガ読者 10000人 アフィリエイトで20万/月の収入を上げる。たくさんの有名アフィリエイターとの人脈をきずき相互紹介等で読者を増加・情報交換。セミナー等にも積極的に参加。

半年後の私 : 目指すべき私になっている。

これを時系フォーメーションと名付けます。横軸に時間、縦軸に目標となる物(この場合はアフィリエイト収入)を書いて論理展開します。計画や段取りを説明するとき、結果報告する時、経過説明するときには有効です。

10000人以上の読者を持つ方はなにげなくこれらの技法を駆使しメルマガを

書いています。このレポートあなたの読者 UP に貢献できれば幸いです。